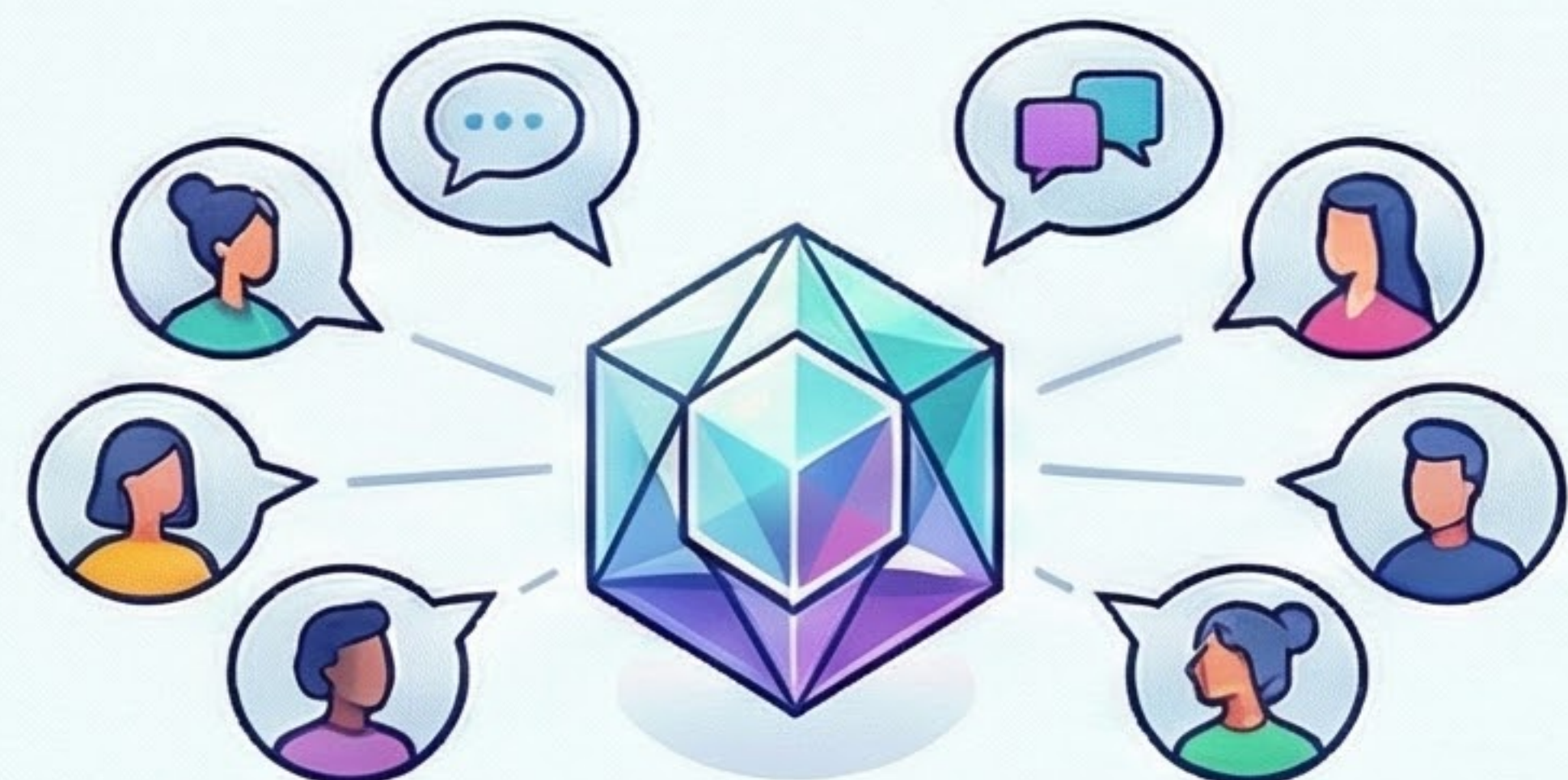


麒麟のAI革命：経営から現場まで

経営の変革：AI役員「CoreMate」の衝撃



12の人格を持つAIが内部討論し、
多角的な論点を提示する。



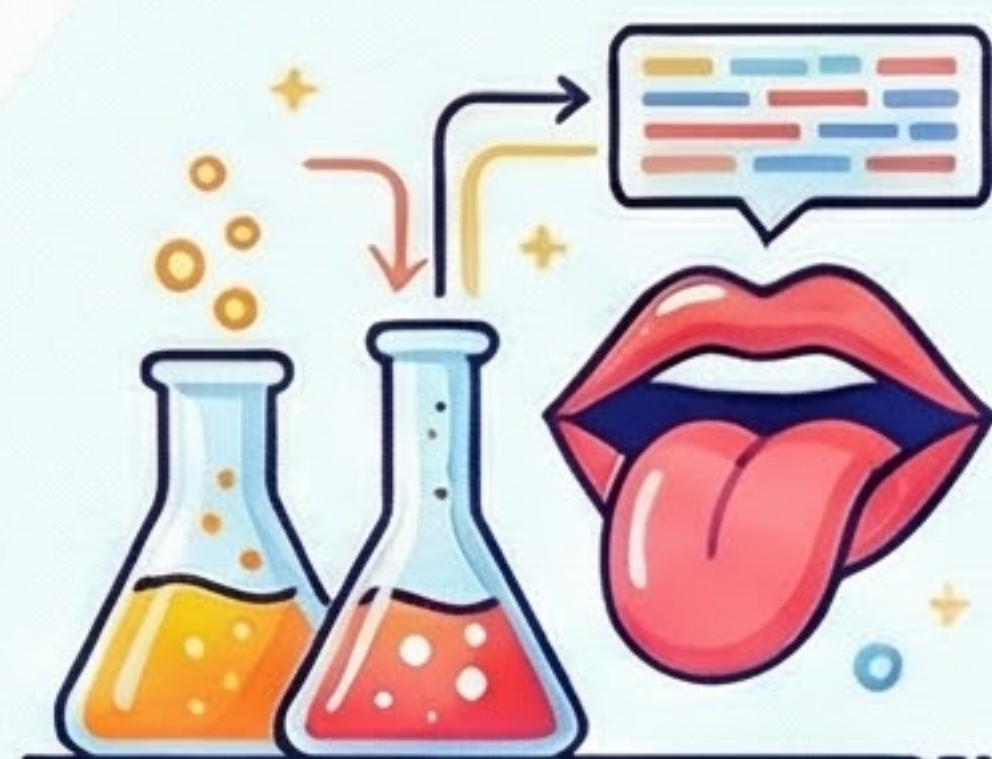
会議の質とスピードが向上：
人間の「忖度」を排除し、議論
の死角を大幅に減少させる。



新たな課題：
AIが提示する「60の論点」

人間の認知能力を超え、
最終的な「決断」の負担が増大している。

現場の革命：独自AIによる開発の科学化



嗜好AI「FJWLA」が
「おいしさ」をデータ化
ビールの官能評価と化学成分の
関係を解明し、開発期間を短縮。



AI創薬で「シチコリン」の
作用メカニズムを世界初解明
AIシミュレーションにより動物
実験を減らし、研究開発を加速。



従業員の生成AI
利用率70%を達成
アンバサダー制度など、現場
主導のボトムアップ施策が奏功。

主要AIシステムとその役割

AIシステム名	担当領域	主な役割
CoreMate	経営意思決定	多角的な論点提示と議論の活性化
FJWLA	製品開発（飲料）	味覚のデータ化と開発プロセスの短縮
創薬DX技術	ヘルスサイエンス	作用メカニズム解明と研究の加速